

平成23年3月定例会 一般質問一覧表

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
1	内 田 大 治	<p>1 ケーブルテレビについて</p> <p>(1) 地上デジタル放送開始時に本市では難視聴エリアはあるのか。また、難視聴世帯への対応はできているか</p> <p>(2) 月額利用料の減免世帯数の現状を問う</p> <p>(3) 月額利用料金設定では加入率が大きな要因であった。当初予定より加入率が上がったが、利用料金が減額されないのはなぜか</p> <p>(4) デジタル放送開始以降にNHKのBS放送についての対応はどのようにするのか</p> <p>2 地域局長調整費について</p> <p>(1) 各地域局長調整費の平成21年度実績と平成22年度の執行状況及び使途内容を問う</p> <p>(2) 各地域局一律の調整費であるが、人口、面積等を基本にして増額する必要はないか</p> <p>(3) 局長調整費を地域局調整費として執行内容を明示してはどうか</p> <p>3 本市の定住促進対策について</p> <p>(1) 国勢調査の結果、大幅に人口減少が進行した原因をどのように分析しているか</p> <p>(2) 今後、定住促進対策にどのように取り組むのか</p> <p>4 県道新見川上線道路改良について</p> <p>(1) 県道新見川上線のうち、川合から井川間に未改良部分がある。どのように認識しているか</p> <p>(2) 備中町布瀬地内で拡張改良が完成しているが、その後着工していない区間の早期着工を県に要望することを求める</p>
2	難 波 英 夫	<p>1 農業と地域経済を破壊するTPP（環太平洋連携協定）への参加をやめさせることについて</p> <p>(1) TPPに参加した場合の本市への影響はどのようになるのか</p> <p>(2) TPPの内容や影響などについて、市民に周知徹底を図るとともに国に対してきっぱりと参加をやめるようJAなどとの共同をして求めること</p> <p>2 地域経済の活性化につながる住宅リフォーム助成制度の創設について</p> <p>(1) この制度は、住民の家計や業者を応援することで地域経済への波及効果も高く全国的に広がっている。本市でも実施してはどうか</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
2	難 波 英 夫	<ul style="list-style-type: none"> ① 住宅の修理、修繕工事に補助金を支給すること ② 国に対しても財政面の支援を求めること 3 市庁舎建てかえについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 建築場所についての市民合意は得られているのか (2) 設計において留意することについて <ul style="list-style-type: none"> ① 市民や利用者、仕事をする職員、誰もが便利でわかりやすくワンストップ対応のできるもの ② 贅沢でない質素を原則としたもの ③ 木材の使用を考えたもの 4 鳥インフルエンザ防止対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市における現況と対策について 5 オフトークについて <ul style="list-style-type: none"> (1) オフトークが廃止と聞くと、今後の危機管理対策を含めて情報発信をどのように考えているのか
3	三 上 孝 子	<ul style="list-style-type: none"> 1 市民が安心できる医療、介護予防の実現を <ul style="list-style-type: none"> (1) 国民健康保険制度について <ul style="list-style-type: none"> ① 国保税の値上げを中止すること ② 制度の改定をめぐる対応について (2) 介護保険制度について <ul style="list-style-type: none"> ① 地域包括ケアの推進はどのように考えているのか ② 介護保険料はどのようになるのか (3) 市民が望む疾病予防、健康増進を <ul style="list-style-type: none"> ① 「ゆ・ら・ら」への税金投入に終止符を ② 疾病予防、健康増進施策の具体策を問う (4) 子宮頸がん予防ワクチンの無料化対象年令の拡大を求める
4	川 上 博 司	<ul style="list-style-type: none"> 1 買い物弱者対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市の買い物弱者の実態をどのように把握されているのか (2) 本市の買い物弱者対策として、どのような対策を検討されているのか 2 副市長の不在について <ul style="list-style-type: none"> (1) 副市長不在により、市政運営へどのような影響を与えたと認識しているのか (2) 副市長を全国公募している市長も存在している。4カ月間、どのような方法で選定されようとしてきたのか 3 駅のバリアフリー化と新庁舎について <ul style="list-style-type: none"> (1) 駅前整備、駅の橋上化を広報たかはし2月号に掲載した真意はどこにあるのか (2) 新庁舎は現在地にすべきではないか

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
5	山 縣 喜 義	<p>1 平成 23 年度予算について</p> <p>(1) 国の平成 23 年度予算、関連法案の年度内成立が危ぶまれる様子だが、年度内成立しなかったら本市にはどの程度の影響があるか</p> <p>2 特別会計の統廃合について</p> <p>(1) 住宅新築資金等貸付事業、畑地かんがい事業、財産区特別会計の統廃合を考えてはどうか</p> <p>3 老人福祉施設の外部委託について</p> <p>(1) 特別養護老人ホーム鶴寿荘、養護老人ホーム成羽川荘及び長寿園、軽費老人ホームグリーンハイツ成羽川、成羽デイサービスセンター等の外部委託を考えてはどうか</p>
6	森 田 仲 一	<p>1 地域活性化と経済対策について</p> <p>(1) 地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム助成事業の創設は考えられないか</p> <p>(2) 農地の有効活用及び高齢耕作者が生きがいを持てる施策、並びに遊休施設を活用した加工施設は考えられないか</p>
7	大 森 一 生	<p>1 SWOT分析から見た高梁市の経済振興と教育振興について</p> <p>(1) 本庁舎建設、高梁駅橋上化計画、朝霧温泉「ゆ・ら・ら」と神原スポーツ公園とその周辺施設のコンセプトについて</p> <p>(2) 経済、産業振興における本市の情報化戦略とビジョンについて</p> <p>① 本市の公衆無線ランなどの、どこでも誰でも使えるインターネット環境整備について</p> <p>(3) 本市の教育振興における i P a d などの多機能型端末の活用と可能性について</p>
8	丸 山 茂 紀	<p>1 昨年実施された国勢調査について</p> <p>(1) 県下の市町村の中で、最大の人口減少率となってしまった高梁市の将来展望と、その施策をどのように考えているのか</p> <p>2 土砂災害防止法に基づく基礎調査について</p> <p>(1) 昨年末に各地区に回覧された土砂災害防止法に基づく基礎調査結果が公示されたが、関係地区の住民には具体的な説明もなく、一方的に当事者の住民の不安をあおることにはならないのか</p> <p>3 国土調査について</p> <p>(1) 高梁市の地籍調査は昭和 49 年から始まり 37 年が経過し、今中井町で実施されているが今年で 10 年目となり、あと 4 年から 5 年かかる予定とされている。高齢化により、また不在地主から筆界未定等が予想される。もっとスピードを上げて、地籍調査を終わらせるよう関係機関へ働きかけていただきたい</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
9	宮 田 好 夫	<p>1 子育てナンバーワンの自治体としてPRを</p> <p>(1) 近藤市政の重点施策として、子育ての環境整備を積極的に行ってきた。そこで「子育てするなら高梁がナンバーワン」と市内外に積極的にPRし、若い世代を呼び込むツールにしたらどうか</p> <p>① 結婚から妊娠、出産、育児、修学、就職まで、市が提供する様々な支援策をわかりやすくまとめたリーフレットやホームページを作成し市内外にPRしたらどうか</p> <p>② 一方、子育て世代が定住する上でのネックは仕事と住居であり、県下で最も高齢化の進んだ高梁市ではますます福祉関係の施設が必要になる。こうした施設の誘致を積極的に行い、雇用の創出をはかったらどうか</p> <p>③ 子育て世代向けに定住対策のため住宅が随時整備されてきているが、今多くの世帯の年収が300万円以下と言われている。安価な家賃の住宅供給も考えるべきではないか</p> <p>2 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」で健康づくりを</p> <p>(1) 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の指定管理者が決まり、再開に向け準備が進められている。新しい事業として健康増進に向けた様々な講座、教室を委託事業として実施するが、多くの市民が参加できる体制をどのように構築するのか</p> <p>① 交通手段について</p> <p>② 市民への意識づけ（広報）について</p> <p>③ 市のかかわり方やバックアップ体制について</p> <p>3 市立高校の展望について</p> <p>(1) 市立高校については、当面現状のまま運営していくとしているが、宇治高校については老朽化が進んでおり、松山高校は城南高校の教室を間借りしている。これらについて、以前の検討委員会でも課題となった。両高校の現状と将来の方向性を問う</p>
10	妹 尾 直 言	<p>1 近藤市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 近藤市長の市政運営に対して、市内での評価を自身どのように受け止め、感じられているのか</p> <p>(2) 次の審判まで1年半となったが、高梁市のありようを原点に戻って、どのようにされるのか</p> <p>2 高梁市独自の医療・福祉の展開について</p> <p>(1) 高齢社会に対応したモデル施策を展開してはどうか</p> <p>① 川上診療所を中心とした高齢者向け住宅による医療・福祉の集中的提供を展開してはどうか</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
10	妹 尾 直 言	<p>② 川上町地頭地区の既存の施設、空き家を利用して高齢者向け住宅への転用を考えてはどうか</p> <p>3 市立成羽病院について</p> <p>(1) 建築へ向けての進捗状況はどうなっているのか</p> <p>(2) 地方公営企業法の全適用に向けての状況はどのようになっているのか</p> <p>(3) 病院事業管理者の選定はどのようになっているのか</p>
11	小 林 重 樹	<p>1 観光振興について</p> <p>(1) 歴史まちづくり法を活かした観光振興について</p> <p>① 仮称「ぶらり高梁まち歩き」のルートを作成してはどうか</p> <p>② 山田方谷ゆかりの史跡と王陽明の名言をきざんだ石碑などを設置し、方谷の小径をつくり、日本の歩きたくなる道に登録されたい</p> <p>③ 市観光駐車場の増設と拡大について</p> <p>(2) スポーツイベントを通じた観光振興について</p> <p>① スポーツ交流人口を増やすことが近年叫ばれているが、その交流人口をいかに観光に結びつけていくのかを問う</p> <p>② 今年10月に行われる自転車レース競技大会である「ヒルクライムチャレンジシリーズ 2011 高梁大会」について、本市が取り組む対策と体制づくりについて問う</p> <p>2 公共交通施策について</p> <p>(1) 本年度実証実験を行っている各ルートの様況、問題点と対策について問う</p> <p>(2) 公共交通施策の方向をどのように考えているのか</p> <p>(3) 将来的には、隣接自治体と連携した連絡会議が必要になるのではないか</p>
12	田 島 肇	<p>1 新庁舎建設について</p> <p>(1) 建設位置をどう考えているのか</p> <p>(2) 新庁舎と高梁中央図書館基本構想のかかわりについて</p> <p>2 総合文化会館及び文化交流館の周辺整備について</p> <p>(1) 明治飼糧跡地購入後における活用について</p> <p>(2) 文化交流館前広場の有効活用について</p> <p>3 副市長の選任について</p> <p>(1) 選任の時期をいつに思われているのか</p> <p>(2) 人選に当たっての考え方について</p>
13	宮 田 公 人	<p>1 高齢者の移動手段確保対策について</p> <p>(1) 高齢者に利用の多いセニアカーの活用促進策として、新規購入やバッテリー交換について補助金制度を創設できないか</p>

質問 順位	質 問 者	項 目 及 び 要 旨
13	宮 田 公 人	<p>2 朝霧温泉「ゆ・ら・ら」について</p> <p>(1) 株式会社朝霧の10年間の指定管理業務をどのように評価したのか</p> <p>(2) 高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」条例には、(指定管理者の管理の期間)第5条 指定管理者が施設の管理を行う期間は、指定を受けた日の属する年度の翌年度の4月1日(当該指定を受けた日が4月1日の場合は、当該日)から起算して5年の間とする。ただし、再指定を妨げない。とあるが再指定を妨げた理由は何か。指定管理者として問題があったのか</p> <p>(3) 「ゆ・ら・ら」再公募の失敗により、結果論として施設のイメージダウン、市のイメージダウン、不必要な税金投入、副市長の辞任、地元企業から近隣自治体企業への管理者の変更を余儀なくされたが、これら全般的な事柄についてはどのような認識を持っているか</p> <p>3 庁舎建設、駅周辺整備と情報公開について</p> <p>(1) どのようなスケジュールにより庁舎建設、駅周辺整備計画を進めていくのか</p> <p>(2) 市民への情報公開の内容、公開時期は適切か</p> <p>4 市長は自身のマニフェストの中間評価を市民に示すべきではないか</p> <p>(1) マニフェストを真に市民との契約ととらえるならば、2年間の折り返し地点を過ぎた今、その再点検と中間評価を行うべきではないか</p>